

第2部 質疑応答

コメント（参加者B）

日光市議会議員の阿部と申します。本日は本当に素晴らしいご講演をありがとうございました。留学生の方にも詳細にわたる調査をしていただいて本当に勉強になりました。今観光課長からも話がありましたが、日光には年間1200万人の来訪いただけるということで、やはり甘えがあったのではないかと、そんな風に受け止めとめなければならないと思っております。

私たち議会も常任委員会を設置しております、観光の方の常任委員会は、今年は稼げる観光ということで、所管事務が終わって整理をさせていただく時期にこのような素晴らしい提議をいただいたことは真摯に受け止めさせていただいて、できれば市議会にも今日のまとめをいただいて、提言書という形であれば、所管事務調査の方に反映できるぎりぎりの時期でございます。しかしそのようにきめ細やかにしていないと、日光市でも今は財源が大変厳しい折で、ちなみに日光でも多言語化ということでお店の方々には助成金制度があるのですが、知られていないという現実が分かりましたので、そういった連携にも努めていかなければならないと思います。

あと、来年の5月には、日光では5件目になりますが、ホテルリッツカールトンが開業されるという大変素晴らしい恵まれたところがありますので、やはり一層やっていかなければいけないなあと思いました。

質問というよりは感想になってしまいますが、今後ともこういった連携の方を頂戴いたしましてそれを真摯に受け止めておかないと、来場者が1200万人に対し宿泊者が330万人と大変落差が大きいので、そういったことをやっていかななくてはならないと思いましたが、大変素晴らしい機会をいただきまして誠にありがとうございました。

コメント（参加者C）

今日はどうもありがとうございました。遅参したものですから、最初のほうがきけなくて残念です。私日光の山の中に住んでいるんです。生まれは渋谷なんですけれど、なぜか今20年近く日光に住んでいるんです。やはり日光が好きで、日光は価値があります。先程副センター長からお話がありましたけれども、日光の方が、日光の良さに気が付いてないんですね。

例えば日本に住んでる野鳥の9割がいるとか、林業に関しても。だから、日光学というものを皆さんのお力をお借りして作れたらいいと思っているのですけれども。日光東照宮が世界文化遺産に登録されたのは1999年なんですね。約20年前なんです。その時に、市長さん以下は大喜びだったんです。でも私は「馬鹿じゃないの」という感じだったんです。皆さん心待ちにしてたんですけれども、今のまま世界文化遺産を受けたら、渋滞はどうなるんだ、皆さんに対するおもてなしはどうするの、という思いだったんですね。私は3年かけて道路の整備をしてから、世界文化遺産を受けるにあたっての市民の意識改革などをやらなければいけないんじゃないかと思ったんですけれども、今日、留学生の皆さんのお話を聞いて、やはりそうだよなと思いました。正直言って、私は渋谷生まれですけど、日光市民ですから、耳が痛いところはあるんですけれども。今出た話は、日光市では無理です。日光市民がいくら頑張っても出来ません。これは国の政策としてやってもらう、それから今日発言された留学生の皆さんが住民票を日光市に移していただいて、日光市を本当の意味の国際観光都市にして頂けたらと思います。

それからもう一点、私は英語が出来ないんです。ワンフレーズしかできないんです。それは海外からお客さんが来た時に、“Excuse me. May I speak to you?”とか“Where are you from?”なんですけど、そしたら“I’m from Australia.”と言ったんですね。どうしてオーストラリアの人が大谷川にカメラを

向けているんですか、オーストラリアの自然は凄いじゃないですか、って言ったんですよ。そしたらやっぱり日本の自然は凄いて言うんですね。だから、自然とか森の質が違うんですね。それはスウェーデンの方に聞きました。むこうはただ大地に木が生えてるだけですよ、日本人はこの日本の整った素晴らしい自然を分かっていないですよ、と言われたんですね。ですから、今日私が皆さんから教えて頂いたのは、日光に来て、日光の市民と交流がないんですね。だから一言でも声をかけてあげればいいんじゃないかと。日光の一番の問題は、市民の観光客への声掛けなのかなと思いました。今日は感謝の一言を言いたくて、マイクを取らせていただきました。本当にありがとうございました。

コメント（参加者D）

栃木市から参りました、加藤と申します。今回は Facebook の広告を見て、ぜひともと思い参加させていただきました。僕は去年まで8年中国に住んでいましたので、中国につてが多いのですが、今そちらの方でインバウンドを個人で考えていて参加させて頂きました。

日光は学生時代から好きでして、埼玉県に実家があるのですが、夜中に足尾を通して日光へ行き、週末は日光で過ごしていました。その頃から車中泊をして戦場ヶ原に車を停めて、歩き回り、自転車でロードレースをしていました。そのころと比べると、大分宣伝されてきたと思います。ところがやはり特に中禅寺湖周辺のお店は昔からサービスや売っているものは変わっておらず、その辺りは変えていかなければいけないと思います。

あとは交通の問題です。場所的にどうしようもないところがあると思うのですが、特に少人数の旅行者が移動しやすい、かつその手段を探しやすいものを何か考えなければならないと思います。支払い口など。それには、栃木県には日産やホンダさんなどがありますから、例えば電気自動車をどんどん新しい技術が出てきていますから、そこと協力して頂いて特別的なところで、少しずつ何かすればいいのではないのでしょうか。特に豊田市は既に行っています。そういうところで、やれるところは全てやっていけばいいと思います。

活用するのはネットだと思います。SNS です。今、Facebook や Twitter、中国でいうと WeChat です。こうしたものを使ってどんどん情報発信していくこと。イベントがあれば広告を出していく、そうしたことをやっていくことでどんどん知ってもらえるんじゃないかと思っています。写真映えする、要は確かに自然や歴史の素晴らしさも一つありますが、やはり僕ら、一般の人からしても、Instagram や Facebook 以前に、観光地で写真を撮るのが好きですよ。そうゆうところで、どこで撮ったのか、をはっきりわかるようにしておくとう行きやすいと思います。また観光地の出入り口付近などで Wi-Fi や Bluetooth で情報を受け取れるようにしておく、皆さん携帯を持っていますから、動きやすくなると思います。